

【22_103/技術系メルマガ】『情報』は『信じず』、『理解』をしよう

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今週の初エントリーはGBPJPY(S)を朝活で仕掛けました(笑)

▼GBPJPY(S) 結果:建値撤退 ▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1513690448745086977?s=20&t=TgwmqSteQHll-SKRqSLlw>

③波を狙うにはちょっと戻しが深く入り過ぎているので、M5足以下にパターン分解

特にM1足で見ると、分かりやすくきれいな三尊があり、ネックブレイクでエントリー。

併せてM15/40-50とM5/100MAに上値を押しさえられているのも併せて確認。

中長期環境はMA乖離狙いの逆張りになるので、リワード確保を重視して早めの利確を見込んだのですが

結果伸び切れず建値撤退でフィニッシュ。

～～

TwitterやYouTubeなど、ブログやメルマガでしかネット上で情報収集の手段がなかった10年前と比較しても

今は非常に情報収集がやりやすくなっています。

むしろ、情報が溢れすぎてしまっており、その中から自分にとって有効性の高い情報を取捨選択する技術が求められているとも言えます。

特に お金 というものを直接扱う 投機の情報 というのは

実際に自分が取り組むにあたって、必要な情報だけでなく

「稼ぎたい」という欲求を逆手に取った詐欺まがいの情報、いい加減な情報なども無数に交じりあっているのが現状です。

そのような中で、自分にとって有用な情報に辿り着くためにどんな考え方をすればいいのか？

それは「金融リテラシー」を高める、、、ことではなく、『情報リテラシー』を高めることです。

つまり、受け取った情報を「信じる(≒鵜呑みにする)」ではなく『理解』しようとするのがポイントであると言えます。

□
└─ 情報発信者の『ベクトル』を意識するところから

とはいえ、「よし、リテラシーを高めるぞ」といったところで、何から手を付けてよいか分かりませんよね。

まず注目すると良いのは『(自分が目にした)その情報が、どんな“ベクトル”を持っているか』です。

要は『発信者の意図』を考えるということですね。

あまりピンときた人は居なかったようですが、先日こんなツイートもしていました。

▼「嘘」と「情報」の読み取りについて(ツイート)▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1512253403942252548?s=20&t=a3_yBJc0t8hW_BKvzAYsfw

その発信者が情報の受信者に『どう感じ、知って、解釈してほしいと思っているか』を逆算的に考えることが

その情報の内側にある「発信者の目的」に近づくという事でもあります。

例えば、作った「動画の紹介」が主な内容であれば「ああ、この動画を見てほしいんだな」と

即座に理解がしやすいと思います。

もう少しトレード界隈に寄せて考えていくと、自分の取引履歴を載せているなら

「ああ、“これだけ稼いでいるから自分はすごいぞ”と知ってほしいんだな」と、発信者の意図を

自分なりに言語化します。

自分を含め 情報発信をする側 には、そういった「なんらかの意図」が必ずあります。

むしろそれが一切ないのなら、「発信」という形で何かを表現する意味も必要性もなくなりますので。

ただ、この作業をするときに1点気を付けてほしいこと。

それは、客観性を持たせるためにも『ネガティブ、ポジティブ両面から評価すること』です。

例えば「コイツ嫌いなんだよな」という発信者の情報に“ベクトル”を見いだそうとするとき

どうしてもネガティブな部分ばかりが目につくと思いますが、それでは好悪感情が先行しているだけで、判断に偏りが出ます。

これは「自分が好きな人」に対してなら逆ですね。「恋は盲目」とはよく言ったものです(ちょっと違うか 笑)

ここが非常に難しいのですが『客観性でバランスを取る』ことは忘れないようにしないといけません。

□
■ あとはやはり、『ベース知識』がモノをいう
└──────────────────┘

発信者の意図とネガポジ両面から言語化したら、次に考えるのは

『法的・社会通念上で考えた時の合理性』です。

こう言うと凄く難しく感じるかもしれませんが、要はトレードの世界で言えば

『金融の法的、“稼ぐ” という点で考えた時に理屈に合うかどうか?』を考える事です。

例えばですが

海外ブローカーには、法人口座を作ることができない所も結構多くあります。

(某有名な海外ブローカーも法人口座を作れないことで有名ですが、まあ名前は伏せます)

先日の100回記念動画ではあまり触れませんでした、海外ブローカーで法人口座を作るメリットは

『法人化することで“節税”を狙う』事(MAX55%の課税を35%程度まで節税できる)にあります。

なのに、法人として運用している人が、「法人口座を作れないブローカー」でトレードしている様子を見たらどうでしょう？

…あれ？なんで？ ってなりますよね？

つまり、本来の目的と法的規制との間に“食い違い”のある情報というのは

どこかに矛盾がある可能性が高く、その情報に対する信頼度は多少なり揺らぐよね

という判断が出来るわけです。

その後どんなアクションを取るかはその人の判断次第ですが

僕なら、「なぜ、法人口座を作れないブローカーで“法人”として運用できるんですか？」と訊くと思います。

大事なのは、その後のリアクションや返答です。

納得する理由をしっかりと出してくれる人なら「なるほど」と思うけど

反面無視されたり、ごまかし・逆ギレ(これはあまりないけど 笑)をするようなら

何か後ろめたいことがあるんだなと判断し、その人の発する情報は自分から遠ざける。

このようにして情報の取捨選択を行っていきます。

残念ながら、「トレーダー」と自称する人はTwitter上にはたくさん居ますが

その中でも確かにトレードを真っ当に行い、結果まで出している人というのは

ひとにぎり、、、いや、ひょっとしたら ひとつまみ くらいのものかもしれません。

その中で確かな情報源を手に入れるのは非常に大変な作業ですが

結局その精度を高めるには、一方的なインプットだけではなく、自分なりのアウトプットが必要不可欠です。

今日の話ヒントに、自分なりの情報収集の仕方を考えてみると良いかもしれませんね。